

はくあ通信

SOPRA +

発行年月日：平成27年4月15日

住所：伊都郡おつらぎ町佐野793

電話番号：0736-26-7281

発行：NPO 法人よつ葉福祉会ソプラス

第10刊

みんなの「働く」・「暮らす」・「遊ぶ」を応援します！

自立訓練(生活訓練)事業の取り組みと成果

平成26年4月から、自立訓練事業を開始し、1年が経過しました。その事業の目的と成果を振り返りたいと思います。

自立訓練(生活訓練)は、就業訓練に向かう前の生活基盤作りを位置付けとしています。自立訓練の1年目の獲得目標として〈所属感〉〈居場所〉〈安心〉〈得意なこと〉〈こだわり〉の5項目を設定しました。所属している機関のルールを守ることが、会社のルールを守ることへと繋がります。そのルールを守ろうと思える感覚が大切です。(所属)

感 就職を目指すにあたり自分の存在を置く場所が必要です。(居場所) 不安や反社会的な行動が表出してしまっても仲間として認められることが大切です。(安心) そして、自分の興味のあることや得意なことから取り組み、自分ではできるという気持ちを取り戻すことが必要です。(得意なこと) (こだわり) そんな5項目の視点から本人たちの変化が見られるようになってきました。体験を重ねることで不安が軽減された、人への適切な関わりができるようになり始めた、アドバイスや助言として捉えられるようになった、人の言動を見て気付きが生まれた、など、学んだことが実践できるような成果が見られました。

2年目に入るとより就労を意識した活動に変わっていきます。所属している機関のルールを守ること自分得をする経験を積む、わからないことを認め相談や質問をすること、金銭管理や余暇時間をうまく使う生活面の安定と維持、言葉づかいや好感の持てる振る舞いができるビジネスマナー、残業や上下関係がある会社のルールなど、就職するために必要なスキルを獲得することを目標に2年目の挑戦が始まります。

(谷)

平成27年3月問題 ~サービス等利用計画・B型事業利用~

平成27年3月までの経過措置が設定された「サービス等利用計画の全員作成」と「特別支援学校等の卒業生のB型事業利用」（いわゆる直B）をどのようにクリアするか、各地域で検討されてきた。「サービス等利用計画の全員作成」については真剣に地域で議論され、達成率の全国平均が60%のところ、和歌山県では75%まで数字が伸びている（26年12月現在）。しかし、これから本当の相談支援体制が問われるようになる。この地域でも、相談支援専門員1人あたりの件数が150件にも達している人もいる中、委託相談支援事業所や基幹相談支援センターに所属する相談支援専門員が100件を超える計画を作成しているところもある。本来のケアマネジメントを中心とした相談支援やそのシステムが、サービス等利用計画のアンバランスさによって崩れることが危惧されている。決して「計画を作成する人」＝「相談支援専門員」ではなく、利用者のためのケアマネジメントであり、そのプロセスの一部に計画作成があることを見失ってはいけない。そのケアマネジメントの積み重ねが地域課題となり、より良い地域作りに発展するべきものでなければならない。そういった体制を構築していくためには、現行制度で解決することは難しいが、その中でできることを地域で考えることが必要になる。

そしてもう一つの「直B問題」。この考え方は様々あろうが、制度趣旨は「特別支援学校等の卒業生が直接B型を利用することを制限する」といった内容ではない。あくまでも、最も適した働く場に移行でき、働く力を伸ばしていけるようにするための支援が前提にある。そのための専門的な就労アセスメントを就労移行支援事業所等が行い、その結果を参考に相談支援事業所がサービス等利用計画を作成することになっている。件数としてはサービス等利用計画の全員作成ほど多くはないため、地域でもそれほど大きな課題として取り上げられていない。この就労アセスメントは、単なる直Bを可能にするためのツールにならないようにしなければならないと思う。アセスメントによる就労移行支援事業所や就業・生活支援センターの負担、放課後等デイサービスとの併用利用ができないこと、措置の対象となっている児童の対応等、様々なことを想定した上で地域のシステムを考えないといけないと思う。

(井端)

2名の方が就職をしました！おめでとう！

1年間の訓練期間を経て、4月1日付で和歌山市にある「西日本旅客鉄道株式会社 和歌山支社」に1名就職をされました。業務内容は、パソコンへのデータ入力や電話対応等の事務業務補助を担当されています。

もう1名は、7ヶ月の訓練期間を経て、4月1日付で大阪府堺市にある「株式会社南テスティパル」に就職をされました。業務内容は、九度山町にある特別養護老人ホーム友愛苑内での調理補助業務を担当されています。

どちらも事業所内で直接的な支援は行わず、来所や電話での就労相談やフェスし会への参加により、定着支援を行います。

〓平成27年度スタッフ体制〓

統括所長 井端郁人

主任 谷亜矢子

相談支援専門員 伴君代

就労支援員 七釜子真紀

目標工賃達成指導員 池本成希

職業指導員 前谷早智子(新正)

生活支援員 野中千尋

相談員 岩崎早織

生活支援員 岡本年子

相談支援専門員 南節子

ジョブコーチ 辻本照代

職業指導員 多田純子

(新正) は新人正職員